

社会科学から自己啓発へ

—吉野源三郎『君たちはどう生きるか』（小説版・漫画版）の解釈変遷—

松井 健人

1. はじめに

本稿の目的は、教養小説として、あるいは教養の名とともに語られることの多い吉野源三郎『君たちはどう生きるか』の解釈変遷を明らかにすることである。具体的には、『君たちはどう生きるか』のテキストの歴史性と、そのテキスト解釈の歴史性に着目する。とりわけ1937年初版の小説版と2017年に羽賀翔一によって行われた漫画化に着目し、これらの受容がどのように行われたのかを明らかにしていきたい。

もっとも、すでに『君たちはどう生きるか』に言及すること自体が手垢にまみれている感もある現状において、何故に本書を検討材料として選択したのかを述べたい。まず、本書が教養小説として受容されている点、あるいは「教養」の言葉とともに言説の俎上にあげられている点にある。それゆえ、戦後日本における「教養」の行く末を明らかにするために恰好の検討対象であるといえる¹⁾。

とはいえ、『君たちはどう生きるか』を批判すること自体は簡単である。例えば階級差をみていない、結局は上層市民層のみに焦点化した物語である²⁾、あるいは女性にほとんどスポットライトが当てられておらずコペル君の友情物語も所詮はホモソーシャルな「男同士の絆」（イヴ・セジウィック）に過ぎない、などなど³⁾。本書が刊行された1937年時点では、小学校在籍者数1179万2738人、中学校在籍者数36万4486人、大学在籍者数7万2978人であった⁴⁾。このことに鑑みれば、たしかにコペル君こと中学生の本田潤一（戦後の1956年・1967年版では本田純一）は、当時の社会におけるエリート学生層であったと位置づけられるだろう。

とはいえ、1937年の作品を現代の理論的参照点から一方的に指弾することも、先の展開を見誤らせる。本稿は、1937年の初版刊行から2017年の漫画版刊行に至るまで、80年あまりに生きのびた作品に対

して、どのような解釈がなされてきたのか、その変遷を明らかにしていきたい。

2. 先行言及と先行研究 随意に見出される現在性

本節では、『君たちはどう生きるか』に関する先行研究を確認していきたい⁵⁾。ただしまず確認すべきは、『君たちはどう生きるか』に関する先行研究はあまり多くなく、専ら書評や紹介・随想といった形での言及が数多くなされてきた点である。また、数少ない先行研究においても後述するとおり、1982年の岩波文庫版に付せられた丸山眞男の解説文の影響を看取することができる点が特徴的である。丸山眞男は1981年の吉野源三郎追悼文『『君たちはどう生きるか』をめぐる回想』において、『君たちはどう生きるか』に展開されているのは、「人生いかに生くべきか、という倫理だけでなく、社会科学的認識とは何かという問題」であると述べる⁶⁾。とりわけ、作中でコペル君が粉ミルク缶から、生産物に介在する人間関係を「人間分子の法則」として発見し、おじさんがこれを「生産関係」として説明していくところに丸山眞男は感銘を受け「これはまさしく「資本論入門」ではないか——」と記すまでにたった⁷⁾。

これまでの先行研究の多くは、上記の丸山の指摘に沿う形で、『君たちはどう生きるか』における自己認識と社会認識論に関して考察を重ねてきた⁸⁾。とりわけ第一章「へんな経験」における主人公・コペル君の認識経験が、自己中心的思考から脱自己中心的な思考への転換（この転換が「コペルニクスの転換」になぞらえてコペル君という綽名につながっている）を描いたものとして高く評価されてきた⁹⁾。さらに、著名な哲学者からの評価としては、鶴見俊輔による評価も挙げられる。「現代の哲学者は、まわりにいる人が、みじめにくらしているとい

う事実、冷淡である。これらのみじめさに少しもふれることなく、不景気が来ようと、戦争が始まろうと、“絶対的事実”などを、論じつづけて行く。哲学はもっと、人間らしくなるべきだ。オットーの本は、そのよう試みの一つである。日本では、吉野源三郎の戦中の著作『君たちはどう生きるか』が、この意味において、すぐれた哲学の本だといえる¹⁰⁾と記す鶴見俊輔は、本書を高く評価している。

つぎに、先行する言及および研究において共通する点として、『君たちはどう生きるか』が非常に多くの場合、現在性と結びつけられて語られてきた点を指摘したい。例えば、2017年に出版された漫画版『君たちはどう生きるか』がベストセラーになった際には¹¹⁾、「憲法を改正してでも戦争ができる国に舵を取ろうとしている現在」として、『君たちはどう生きるか』に現在性が読み込まれていくことになった¹²⁾。他にもあえて数例をあげれば『君たちはどう生きるか』は、「軍国主義¹³⁾」、「いじめ・貧困・格差¹⁴⁾」、「北朝鮮のミサイル問題¹⁵⁾」、「高校社会科の解体¹⁶⁾」、「偏狭な国粹主義¹⁷⁾」、「原子力発電¹⁸⁾」、「核兵器¹⁹⁾」、「選挙で圧勝した安倍政権²⁰⁾」、「今の子どもたちの悩みとリンク²¹⁾」している点、上級生問題に象徴される「権力と排外主義²²⁾」との関わりにおいて、現在性を見出されることになる。軍事・戦争にかかわる被言及事象が多いが、およそ見出される事象の各項に必ずしも共通点があるわけではないので、ほとんど自由連想に近い形で論者らによって随意に現在性の付与がなされているといえるだろう。つまり、1937年初版時の『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎が「良くなった」と評価した戦後版ではなく）に対して、評価当時の社会背景事情と随意に接続することで、現在性がその都度見出されている形になっている²³⁾。

しかしながら、吉野源三郎自身が修正を加え、「良くなった²⁴⁾」と評したポプラ社版（1967年）『君たちはどう生きるか』では、戦中を想起させるような事例は基本的に削除修正されている。具体的に言えば、戦後ポプラ社版では「修身」という語句は削除されている。さらに、「愛校心のない学生は、社会に出ては、愛国心のない国民になるにちがいない」に始まる上級生の発言も、全て削除されている²⁵⁾。つまり、吉野源三郎自身としては、『君たちはどう生きるか』が戦中を想起させるような小説としては意図していなかったといえるだろう。そして、岩波

文庫で『君たちはどう生きるか』を出版する際に、1937年版を底本とすることを強く主張したのが、先にみた丸山眞男であった²⁶⁾。

なお『君たちはどう生きるか』は戦後において、

- ①1956年に「新編・日本少国民文庫」として新潮社から出版され、1969年に「新編・日本少国民文庫」から独立して再刊
- ②1967年に『ジュニア版吉野源三郎全集 1 君たちはどう生きるか 波濤を超えて』としてポプラ社から刊行（2000年に改訂新版が刊行）
- ③1982年に岩波書店から、1937年初版を底本として刊行
- ④2017年にマガジンハウス社から、1982年岩波文庫版を底本として刊行

といった経緯をたどっている。そして①と②の際に（1956年と1967年）、それぞれ吉野源三郎自身が本文に修正を加えているのであった。

さて、議論をこれまでの先行研究・言及の傾向について戻せば、随意に『君たちはどう生きるか』を現在性と結びつける評価によって見落されているのは、第一に『君たちはどう生きるか』がもつ歴史的固有性であり²⁷⁾、第二に、漫画版『君たちはどう生きるか』が戦争といった歴史的な脈性を消去することに腐心したものであるという点である（第5節で詳述²⁸⁾）。

また、増井真琴がすでに指摘するように、吉野源三郎も戦時中は部分的ながらも時局便乗的な文章を書いていた事実を確認しておきたい²⁹⁾。もっとも、この点を批判することが本稿の目的なのではない。あくまで吉野源三郎自身ですら「手の白い者」ではなかった点の確認であるとともに、このような歴史を忘却して、吉野源三郎『君たちはどう生きるか』を戦後民主主義の一点の汚れなき聖典として祭り上げる言説の回路を批判したい³⁰⁾。

さらには、権力と排除の外部的構造の問題とされている学校内の先輩・後輩関係（というより後者の前者に対する従属）というものが、佐藤秀夫が指摘するとおり、実のところ「生徒の自治」という美名のもとで、学校規律管理として他ならぬ生徒自身によって主体的に進められてきたという歴史に留意しても良いだろう³¹⁾。

3. 『君たちはどう生きるか』の間テキスト性

前節で歴史的固有性が見落されがちである、と述べた。これに関連して本節では、『君たちはどう生きるか』の間テキスト性³²⁾についてみていきたい。具体的には『君たちはどう生きるか』の文章内、どのような他の書籍への言及が存在するのか、そしてその言及先ではどのような内容が述べられているのかについて確認していきたい。

この時に重要になるのは、『君たちはどう生きるか』初版が、山本有三が編纂する『日本少国民文庫』全16巻の第5巻（最終回配本）として出版されたという点である。この『日本少国民文庫』は、吉野源三郎が記すには、「この人々〔少年少女〕には、偏狭な国粹主義や反動的な思想を超えた、自由で豊かな文化のあることを、なんとかしてつたてておかねばならないし、人類の進歩についての信念をいまのうちに養っておかねばならない³³⁾」と考えた山本有三によって刊行されたものであった。

この事実自体は広く認識されていたものの、『君たちはどう生きるか』のおじさんのノートの部分に当時の日本少国民文庫へのレファレンス・参照指示が多く示されていることを、これまでの先行言及および先行研究はほとんど検討してこなかった。

それでは、『君たちはどう生きるか』における他の日本少国民文庫への参照指示を確認していきたい。例えば、「第4章 貧しき友」でのコベル君に向けた「おじさんのノート」では以下の様な記述が存在する。

では、なぜ、これほど文明の進んだ世の中に、そんな厭なことがなお残っているのだろうか。なぜ、この世の中から、そういう不幸が除かれられないでいるのだろうか。このことも、君の年で、十分に正しく理解することは、まだむずかしい。大体のことは、『人生案内』の「社会」という部分を読めばわかるけれど³⁴⁾

と『人生案内』がレファレンス先として紹介されている。『人生案内』の「社会」の項目は「人は社会的動物なり」から始まる。そして、文明・社会について以下の様な記述に出会うことになる。

人間は精神の力を発揮するだけで、非常な満

足と喜びを感じるようになったのです。そして、この満足と喜びを感じることの出来ない野蛮人は劣等人種でそれを感じる文明人は高等人種であるとされ、私たちは幸いに、それを誇ることが出来るのであります。ですから、人類の歴史は、結局、文明の発達史であります。人間はたしかに、パンのみで生きているのではないのです³⁵⁾。

この文章の次のページには、上半身裸の黒人らの写真が掲げられ「今でもこんな野蛮な社会もあります」という説明文が添えられている（図1³⁶⁾）。さらに、同じく「社会」の項目では貨幣についても記述がなされているが、実際の貨幣についての説明の際に、「奇妙なお金」（図2）が提示され、「これはアフリカの奥地でつかわれているお金です。長さ22センチほどで十字型になっているこの銅製のお金は、日本のお金にしたら一円の値打もないくらいなのに、コンゴ河流域では人間が一人買えるほどの価値を持っています³⁷⁾」と説明が加えられている。

『人生案内』の他にも、『君たちはどう生きるか』の「おじさんのノート」において、「こういうことは、君も『人間はどれだけの事をして来たか』を読んで知っているにちがいない³⁸⁾」や「コベル君！ 君は『人間はどれだけの事をして来たか』という本を二冊も読んだから、人間が野獣同様な生活をしていた大昔から、何万年という長い年月、どんなに努力に努力をつづけて、とうとう今日の文明にたどりついたかという、輝かしい歴史を知っているはずだ³⁹⁾」

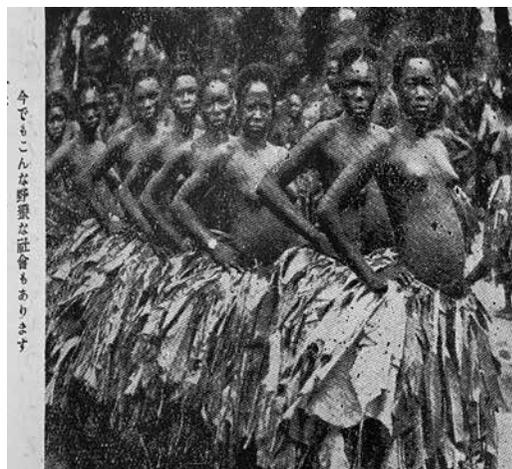


図1



図 2

といった形で同じく日本少国民文庫の『人間はどれだけの事をして来たか』が参照指示されている。この『人間はどれだけの事をして来たか』の第一巻と第二巻の序文をみると、それぞれ文明についての次のような記述がなされている。

いまの世界では、西洋のほかにある国でも、西洋文明をとりいれて、自分のものになければ、欧米の国々とならんで独立国として立っていくことは、とてもできません。やや古くい「原文ママ」ところでは、イギリスのために独立をうばわれたインドがその例であるし、イタリアにうち倒されたエチオピアは、手近な例です。日本人は早くからこの事をさとって、明治維新このかた、ずんずん西洋文明をとりいれ、ついには、東洋人の建てている国々の中で、世界の強国の列にならぶただ一つの国とさえなりました⁴⁰⁾。

わが日本には、まだこれほど「ニュートンやダーウィン」の学者が出ていない。それというのも、昔は日本に西洋との交通が開けないで、国の中だけで生活しており、そこに科学がまるで生まれて来なかったからである。だが、昔はそれですんでいたものの、今日のように国と国との競争がはげしくなって来ると、どうしても学問を進めて国力を増してゆかな

くてはならない。それで明治時代になってから、西洋の学問を輸入して、今ではもういろいろな文化の上で、西洋にさほど劣らなくなることができた⁴¹⁾。

無論、西洋のみが唯一絶対でないことは、「東洋には東洋の文明があるということ」という形で明記されるが、東洋の独自性は「東洋文明と西洋文明とを一つに融かして、いままでになかった新しい文明をつくりだしてみたいものだ」という願いが、私たちの心の底から頭をもたげてくるのです」と日本の願いとして回収される⁴²⁾。

これらの文章を即座に「日本帝国主義」あるいは「植民地主義」と切り捨ててしまうのはさすがに即断かもしれない。そもそも、山本有三率いる「日本少国民文庫」は、当時としては政府当局から目をつけられる程にリベラルな姿勢を示す出版物であったことも加味しなくてはならない⁴³⁾。しかし、日本少国民文庫がつたえようと目指した「人類の進歩についての信念」とは、西洋文明の優勢・日本の猛追・黒人の劣等を一直線の発達ととらえる文明の発達史観であったと判断するほかない。この人類の進歩についての信念には、明らかに危ういものが胎胞されている。

ここまで確認したように、吉野源三郎『君たちはどう生きるか』は日本少国民文庫という磁場の中で生成したテキストであり、本文内にも同シリーズの他文献への言及がたびたび見られるなど、間テキスト性を有するものであった。なお、1967年のポプラ社版では吉野源三郎自らの修正により、日本少国民文庫へのすべての言及が削除修正されている。恣意的に現在性のみを見出す評価視点では、『君たちはどう生きるか』の実相をとらえることはできない。

補足的にここに記すと、漫画版の「おじさんのノート」に関して、「おじさんのノート」本文を小説の各版と比較検討する限りにおいては、1937年初版・1956年版・1967年版とも異なる部分も存在する一方で⁴⁴⁾、1937年初版の記述となっている箇所もあり⁴⁵⁾、漫画版テキストが主にどの版に基づいているのか（つまり、①1937年初版（1982年岩波文庫、2017年マガジンハウス社）、②1956年新潮社版、③1967年ポプラ社版のいずれなのか）、明示的に確定することはできなかった。しかしながら、直前注釈で記したように、1956・1967年版に近い記述が漫画

版には存在せず、漫画版「おじさんのノート」のほとんどすべての記述が岩波文庫版と同一であるので、岩波文庫をもととして適宜変更を加えていると解釈するのが自然であろう。無論、漫画化にあたって物語の運びなどにそもそも変更を加えているので確定させることに特段の意義はないものの、漫画版においては、本節で検討した『人生案内』および『人間はどれだけの事をして来たか』への参照指示が登場しない点を確認しておきたい。

4. 丸山眞男から池上彰へ 生き方としての『君たちはどう生きるか』受容

本節では2017年以後、つまりマガジンハウス社からの『君たちはどう生きるか』の漫画版と原作版発売以後に、どのように『君たちはどう生きるか』が解釈されてきたのかについて検討していきたい。なお、既に確認したように丸山眞男は、『君たちはどう生きるか』を資本論入門として高く評価していた。しかしながら、これが吉野源三郎自身の意図とは微妙に異なっていたことに留意しなくてはならない。吉野源三郎は、1972年に行われた堀尾輝久との対談で、「ヒューマニズムの立場で書いてある本が、社会科学への入門書として使われた」と、自らの執筆意図と受容とのズレに関して言及している⁴⁶⁾。

2017年のマガジンハウス社からの小説『君たちはどう生きるか』再刊の際には、岩波文庫に収められた丸山眞男解説の立ち位置は、ジャーナリストの池上彰による文章にとって代わることとなった。池上彰は『君たちはどう生きるか』の冒頭解説文である「『君たちはどう生きるか』を読む前に“私たちはどう生きるか”」において、「子どもたちに向けた哲学者であり、道徳の書なのです」あるいは「人間としての教養とは何かを示したうえで、あるべき人間についての問題提起が登場します。いじめへの対処です」と、『君たちはどう生きるか』を道徳書、あるいはいじめをはじめとした人間関係・生き方への指針を示す題材として解釈を行っている⁴⁷⁾。

また、漫画版『君たちはどう生きるか』においても、冒頭のリード文において「小説の出版から80年経った今もあらゆる世代の人たちが生き方の指針となる言葉を物語の中から見出しています」として、『君たちはどう生きるか』を生き方の指針として読む道筋が示されている⁴⁸⁾。このように2017年の小説

再刊・漫画化の時点においては、『君たちはどう生きるか』を、生き方を示す書籍として受容する道筋が優勢であったといえる。さらに、漫画化を行った羽賀翔一も朝日新聞のインタビューにおいて、『君たちはどう生きるか』のおじさんを人間の生き方についてアドバイスを行う「メンター」として解釈し、「メンターがこういう言葉をかけてくれることで、正しい道に進む力を振り絞れるのです⁴⁹⁾」と述べている。

上述の言説は解説文執筆者あるいは漫画家といった送り手・発信者側による解釈であるが、漫画版『君たちはどう生きるか』に関する同時代の文章からは、読み手も同様の解釈を行っていたことがうかがえる⁵⁰⁾。ここで、朝日新聞に掲載されたマガジンハウス社による広告および『君たちはどう生きるか』に関するマガジンハウス社の公式Webページから具体例を示すと、以下の様な感想が述べられる。

とても感動しました。人としてどう生きていくか、正しい道を歩むにはどうすべきか教えられました。間違った方向に流されずに自分の意志をもって生きて行くこと、そして、行動に移すことが大事だと思いました。コペル君を自分に置き換えてみると、とても涙が出る話でした⁵¹⁾ (15歳男性 高校生)

学生のうちに読んでおいてよかったです。生きるうえで、物事に向き合ううえで、どうすべきか考え直されます。自分の考えを持つことと、探求心を大切に、社会に出て、頑張ろうと思いました⁵²⁾ (21歳男性 大学生)

私の学校でも同じようにいじめられている子がいた。助けてあげたいと思ってもできず、結局皆と同じ波に乗って流されるままだった。けれど、この本を読んで、絶対にその子を助けようと決意できた。自分はこの本で強くなった。出会えて本当に良かった⁵³⁾ (12歳女性 小学生)

いずれの感想にも共通するのは、『君たちはどう生きるか』を読んだ「自己」がどのように今後考えるべきか・生きていくべきか、という再帰的自己言及

がみられる点である。この点は、近年みられる自己啓発言説と軌を一にする構造を見出すことができるだろう⁵⁴⁾。2017年の漫画版刊行の際には、『君たちはどう生きるか』が、資本論入門としてではなく生き方を示す指針として広く受容されていたといえる⁵⁵⁾。

しかしながら、吉野源三郎自身は内省に閉じこもる姿勢について批判的な視点を持っていたことを確認したい。この点は、吉野源三郎の学生運動批判に明瞭に表れている。例えば、吉野源三郎は藤田省三との対談において、苛烈なまでに学生運動の内向性を批判する。

大体、自己否定などという言葉が氾濫して来て、内面的に非常に深刻なことのようになっていますけど、自分というものを社会的存在として現実的に見すえれば、自己否定とは、大学生の場合、まず親から金をもらって生活している身分の否定からはじまらなければウソです⁵⁶⁾。

吉野にとって重要なのは、内向・内省的態度ではなく、自らの歴史的立ち位置あるいは自らの階級を自覚し行動する事であった。「一番大きなちがいは、自覚が階級的な自覚となっているか、どうかということではないでしょうか。プロレタリアの非人間的状態とその歴史的使命というものを認め、それとの関係によって、自己に新しい生きがいを自ら与えようと努める。自分の内面的なモヤモヤした感情などは、自分の階級的弱さとして克服しようとする⁵⁷⁾」ことが必要であると吉野は主張する。「学生諸君について、少なくとも私たちの見聞する限り、この点について危惧を感じずにはいられないのです。人権をふみにじるような行為をして平然としていられるのも、そのせいではないでしょうか。他者がいないからズルズルに主観主義に陥ってゆく⁵⁸⁾」ことが吉野にとっては問題なのであった。ヒューマニストを自らもって任ずる吉野源三郎にとっては、「たかが大学の変革ぐらいのことで、人権をふみにじり、暴力をふるって平気だ、というのは、人間の道義的感情の麻痺でしか⁵⁹⁾」ないのであった⁶⁰⁾。

ここで今一度確認すると、これまでの検討からも明らかのように、2017年の漫画版『君たちはどう生きるか』のベストセラー化ののちに語られた言説の

大半は、「小説としての」『君たちはどう生きるか』を主軸に語られており、漫画版『君たちはどう生きるか』の独自性についての言及はあまり見られないものであった。これに対して、本稿は漫画版『君たちはどう生きるか』が、ある意味において原作よりも優れた表象となっている点について考察を行っていく。

5. 漫画版の独自性と教養のアイロニー

本節では、漫画版『君たちはどう生きるか』の独自性について検討を行いたい。まず、漫画版の独自性として指摘されるのは、原作とは異なり、コベル君を導く人物とされてきた⁶¹⁾、おじさんが苦悩し成長する人物として描かれている点である。

編集担当者であった鉄尾周一ならびに漫画家の羽賀翔一は、以下の様におじさんの立ち位置について語っている。

上から目線だと、どうなのかなということ、コベル君といっしょに叔父さんも成長していきうっていうふうに設定を変えた。やっぱり今の時代、上から高圧的にものを言うのは、なかなか伝わりにくいし、反発も買いやすい⁶²⁾

おじさんが上から目線で、コベル君にものを教えるような構図になると説教臭くなって、読者がノートの部分を読まなくなるのは避けたかった。おじさんは愛されるキャラクターにする必要がありました⁶³⁾。

教養あるいは教養小説の語り口が高踏的になりがちであるという点は、従来の教養論に関する研究でも論じられてきた点であり⁶⁴⁾、実際の読書経験として原作『君たちはどう生きるか』の語り口への違和感が指摘されてきたことを考えれば⁶⁵⁾、この語り口の変更は漫画版の重要な独自性として評価できるだろう。

また、戦争的な文脈の消去も重要な独自性であろう。鉄尾は以下の様に述べている

編集部：漫画版は上級生の暴力も変更しています。山口兄弟は正義漢の北見君が気に入らない。原作では、愛校心に欠く人間は愛国

心に欠けるから制裁する。正義の暴力です。

鉄尾：読みやすく、今の若い人たち、戦争を知らない人たちに、まず読んでほしかったので、すべての人がフラットに読めるようにということで、そういう戦争的な文脈はあえてはずしてあるということです⁶⁶⁾。

同時代的文脈を取って消去することで現代の読者にアプローチするという試みは、漫画版『君たちはどう生きるか』を用いて中・高等学校で特別授業を行った池上彰が、『君たちはどう生きるか』を現代の話だとおもった生徒を紹介したように⁶⁷⁾、功を奏したのではないと思われる。また池上彰は、保護者や祖父母といった購入層が子どもに読ませたいために買ったゆえにベストセラーとなったのではないかと推測している⁶⁸⁾。実際、『サンデー毎日』の『君たちはどう生きるか』ブームに関する記事は、中高年の購入者の多さを伝えている⁶⁹⁾。

また、2018年に毎日新聞社が行った第72回読書世論調査では、「君たちはどう生きるかがヒットした理由」についてのアンケート結果が示されており、「わからない」が45%、「新聞やテレビ、インターネットで話題になったから」が20%、「多くの人が共感できるテーマだったから」が10%、「漫画化され読みやすいから」が9%、「ベストセラーになっているという評判が広まったから」が9%といった内訳となっている⁷⁰⁾。

漫画版『君たちはどう生きるか』が流行となった要因を探ることは本稿の目的ではないが、「多くの人が共感できるテーマ」がおそらく戦争ではなく学校でのいじめ問題である蓋然性は高い。これらの点を踏まえて考えれば、漫画版『君たちはどう生きるか』および原作は、2017年の流行時においては、流行現象⁷¹⁾になっていることを知った人々が漫画版あるいは原作を手に取り、「共感できるテーマ」に重きをおいて読んだのではないかと考えることができるだろう。

最後に、第三の独自性として、結末部の変化を指摘したい。原作においては、主人公コベル君は以下の様な決意表明をノートに記して小説が閉じられている。

僕は、すべての人がおたがいにいい友だちであるような、そういう世の中が来なければい

けないと思います。人類は今まで進歩して来たのですから、きっと今にそういう世の中に行きつくだろうと思います。そして僕は、それに役立つような人間になりたいと思います⁷²⁾。

原作の『君たちはどう生きるか』における人類の「進歩」概念が孕む差別性については、すでに本稿で指摘した通りである。原作の「進歩」概念が存在した1937年当時のコンテクストには、黒人やアフリカはおそらく「進歩」には含まれないだろう。

これに対して漫画版最終部では、おじさんが、今まで記して来た「おじさんのノート」を『君たちはどう生きるか』として出版することになる。そして、コベル君は「でも今は しっかりと飛び込んでいける予感がするんだ」と独白し「おじさんのように…」と考えて生きていくことを目指すようになる⁷³⁾。

この結末部では、アイロニカルな「教養」の閉塞が、おそらく著者の意志とは反する形であるといえ表象されている。漫画版『君たちはどう生きるか』の主人公コベル君は、書籍『君たちはどう生きるか』を執筆し出版するおじさんを目指し、「おじさんのように」と独白する姿で漫画版『君たちはどう生きるか』の幕が閉じられる。

『君たちはどう生きるか』の主人公が世界への飛び込むこと（世界への投企）を目指すものの、目指す先は『君たちはどう生きるか』を出版する「おじさん」であるのだ。実のところ目指す先は物語開始時点から全く動いていない。このような教養の閉塞を見事に描き切ってしまうという点が、漫画版『君たちはどう生きるか』のすぐれたところであろう。

6. おわりに

本稿の議論をまとめる。本稿はまず、先行する研究および言及において『君たちはどう生きるか』が社会認識論として論じられるか、あるいは現在性と恣意的に結びつけられていることを確認した。しかし、岩波書店版・マガジンハウス社版『君たちはどう生きるか』では1937年初版を底本としており、同時代の日本少国民文庫への参照指示という間テクスト性が存在していることを本稿は指摘した。そして、参照指示先でのべられる「人類の進歩」は、白

人のヨーロッパ社会を頂点とする文明の発達史観であり、アフリカや黒人への差別的視点を内包するものであったことが判明した。

さらに、本稿は2017年の漫画版の流行に際して提出された言説を分析し、かつては資本論入門や社会認識論への導入として評価されてきた『君たちはどう生きるか』が、自己の生き方の指針を見出すために読まれるという自己啓発的な視角から受容されていることを明らかにした。最後に、漫画版の独自性として、①おじさんとともに成長する存在として描き、上からの語り口の消去に努めていること、②戦争という時代的文脈の消去を試みていること、③結末部を原作から変更し、それが教養の閉塞を描く結果として解釈可能な事を示した。

本稿は、これまで歴史性を無視して専ら恣意的に現在性と結びつけられてきた『君たちはどう生きるか』に関して、原作と漫画版がもつ歴史的固有性を明らかにしていく試みであった。もっとも、「君たちはどう生きるか」という問いが作者の理念的人間像を提出するものである以上、時代の歴史的背景・思想的背景の規定を逃れることはそもそもできないのであり、そもそも教養小説に「時代をこえた普遍性をそれ〔教養小説〕に与えることは許されない⁷⁴⁾」のである。

『教養小説の崩壊』を著した池田浩士は教養小説について、「危機的状況のなかで「いかに生きるべきか?」を問う主人公たちは、危機の深まりとともに、ついには、新しい生きかたへの道を見失うばかりか、新しい生きかたを予感的に発見することさえもできなくなるだろう」と指摘する⁷⁵⁾。世代間格差も世代内格差もひたすらに拡大しつづける「現在(2022年)」では⁷⁶⁾、もしかしたら2017-2018年のブーム時のような受容は起こらず、「親ガチャ」(大辞泉が選ぶ新語大賞・2021年⁷⁷⁾)を引き当てたコペル君にどれだけ多くの人が共感できるのか、それすら怪しいのではないだろうか。「君たちは、どう生きるか」ではなく、もはや「私たちは、どう生きれるか」がただただ問われている。

【付記】

引用に際しては仮名遣い・漢字表記を適宜現代のものにあらためた。また、太文字・傍点はすべて原典のまま引用している。

【追記】

本稿校正時に、安倍晋三元首相が銃撃を受けご逝去された。ご冥福をお祈り申し上げる。『君たちはどう生きるか』を凌駕する「現在性」に苛まれる。

注

- 1) 大正教養主義に関しては、松井健人「第4講 教養主義」『思想史講義——大正篇』筑摩書房、2022年近刊を参照。戦後日本の教養主義一般に関しては、竹内洋『教養主義の没落』中央公論新社、2003年が学生読書文化面での確な見取り図を示している。
- 2) 田中真澄「いつか来た道とおりゃんせ——50年代児童が読んだ本 『君たちはどう生きるか』をどう生きるか」『世界』(819)、2011年、174-177頁など。
- 3) これらの点に関しては高田里恵子『グロテスクな教養』筑摩書房、2005年、第一章も参照されたい。また、斎藤美奈子は『君たちはどう生きるか』が示すものが、結局のところ「正しい知識人の生き方」である点を批判的に指摘している。斎藤美奈子「なぜいま『君たちはどう生きるか』なのか」『ちくま』(561)、2017年、18-21頁。『君たちはどう生きるか』の諸々の課題点を踏まえた書評としては、石井雅巳「『君たちはどう生きるか』をどう読むのか」『フィルカル』4(1)、2019年、52-55頁。
- 4) 日本近代教育史典編集委員会編『日本近代教育史事典』平凡社、1971年、88-89頁。
- 5) 吉野源三郎自身に関する先行研究としては以下を参照。石井美桑夫「戦中・戦後をつなぐもの——吉野源三郎の同時代史的認識をめぐって」西川長夫・中原章雄編『戦後価値の再検討』有斐閣、1986年、188-209頁；富士晴英「吉野源三郎と『世界』」『歴史評論』(553)、1996年、47-62頁；佐藤卓己「管制高地に立つ編集者・吉野源三郎——平和運動における軍事的リーダーシップ」戸部良一編『近代日本のリーダーシップ——岐路に立つ指導者たち』千倉書房、2014年、279-308頁。
- 6) 丸山眞男「『君たちはどう生きるか』をめぐる回想——吉野さんの霊にささげる」吉野源三郎『君たちはどう生きるか』岩波書店、1982年、310頁。
- 7) 同上、312頁。
- 8) 竹内真澄「社会科学の規範的基礎をめぐって——吉野源三郎『君たちはどう生きるか』を読む」『桃山学院大学社会学論集』26(1)、1992年、51-73頁；梶原郁郎「『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎)の社会認識形成論——視座転換を可能とする他者認識の段階的形成の筋

- 道』『愛媛大学教育学部紀要』(58)、2011年、1-20頁。
- 9) とはいえ、現代ではそもそもこのような情景描写自体はある程度人口に膾炙しているといえる。例えば、球場での野球観戦において(『君たちはどう生きるか』においても野球がしばしば取り上げられる)、自己認識・存在の相対化を経験する登場人物を描写した小説として、谷川流『涼宮ハルヒの憂鬱』角川書店、2003年、225-226頁を参照。
- 10) 鶴見俊輔『新版 アメリカ哲学』社会思想社、1971年、137頁。
- 11) なお、漫画化後に刊行された『君たちはどう生きるか』に関連する書籍として、池上彰『別冊100分de名著——特別授業『君たちはどう生きるか』』NHK出版、2017年; 浅羽通明『『君たちはどう生きるか』集中講義』幻冬舎、2018年; 上原隆『君たちはどう生きるかの哲学』幻冬舎、2018年; 村瀬学『『君たちはどう生きるか』に異論あり!』言舎、2018年; 橋本進『『君たちはどう生きるか』を読み解く』大月書店、2018年などがある。しかしこれらの書籍は、基本的には著者の持論を展開することに主眼があり、『君たちはどう生きるか』テキスト本文や解釈の変遷について詳細な検討を行っているわけではない。
- 12) 野上暁『コペル君とその時代から』『日本児童文学』64(5)、2018年、45頁。
- 13) 田代三良「思春期・青年期と言葉の教育——吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』によせて」『教育』、35(2)、1985年、59頁。
- 14) 毎日新聞2018年2月13日5面。
- 15) 朝日新聞2017年11月4日2面。
- 16) 川本隆史「経験と友情——吉野源三郎『君たちはどう生きるか』を読む」、『教員養成セミナー』第14巻第2号、1991年、73頁。
- 17) 斎藤美奈子「なぜいま『君たちはどう生きるか』なのか」『ちくま』(561)、2017年、21頁。
- 18) 濱口晴彦「『君たちはどう生きるか』の周辺事情——白い手のジレンマから人間を信じる賭けへ」『文化社会学研究』(9)、2018年、32頁。
- 19) 朝日新聞1987年8月16日13面「改めて問う『君たちはどう生きるか』」。
- 20) 三上治「『君たちはどう生きるか』吉野源三郎」『出版人・広告人』6(1)、2018年、124頁。
- 21) 毎日新聞2018年1月5日10面。
- 22) 吉川浩満「書評 吉野源三郎原作、羽賀翔一漫画『漫画 君たちはどう生きるか』」『Kokko』(28)、2018年、69頁。
- 23) 恣意的に現在性を見出す評価とは異なり、梨木香歩は、主体性回復への欲求ならびに子ども(コペル君)を守る父性・母性への慕わしさが、『君たちはどう生きるか』のベストセラー・流行現象に潜在しているのではないかと指摘している。梨木香歩「今、『君たちはどう生きるか』の周辺で」『図書』(832)、2018年、25頁。
- 24) 吉野源三郎『君たちはどう生きるか——波濤を超えてジュニア版吉野源三郎全集1』1967年、ポプラ社、314頁。
- 25) 対応箇所は岩波書店版(1982年)166頁とポプラ社版(1967年)127頁。この点については丸山眞男「『君たちはどう生きるか』をめぐる回想」吉野源三郎『君たちはどう生きるか』岩波書店、1982年、338頁参照。
- 26) 丸山眞男「『君たちはどう生きるか』をめぐる回想」、332頁。
- 27) なお、朝日新聞1987年8月16日13面「改めて問う『君たちはどう生きるか』」は、札幌で刊行50周年シンポジウムが行われたことを報道している。北海道教育大学の三好宏一(経済学)、十亀昭雄(政治学)、酪農学園大学の太田一男(憲法学)らがシンポジストとして発言した様子が伝えられた。現代の政治社会背景を踏まえると、「若い人たちが『君たちは——』を受け止めるのも難しいのでは」と伝える十亀の発言は、『君たちはどう生きるか』の歴史的固有性あるいは今日的受容の困難さに触れた、数少ない言説である。
- 28) テキストと向き合った少数の研究として、『君たちはどう生きるか』の各表現から、社会的認識の具体的様相を考察した、関根宏朗「吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』を読みなおす——倫理と教育をめぐる」『明治大学教職課程年報』(41)、2018年、25-37頁。また、奥山恵「吉野源三郎『リンカーン伝』生成考——戦争をくぐるということ」『児童文学研究』(35)、2002年、21-36頁は、吉野源三郎『エイブ・リンカーン』のテキストの変遷を詳細に明らかにしたものであり高く評価される。
- 29) 増井真琴「秘された恥部——小川未明の転向をめぐる」『日本児童文学』64(5)、2018年、62-69頁。
- 30) 吉野源三郎の戦争協力は、戦後ジャーナリズムによって追及がなされた点でもある。「全貌」編集部『進歩的文化人——学者先生戦前戦後言質集』全貌社、1957年、29-36頁。教育学者では、宗像誠也、宮原誠一、矢川徳光、長田新が追及されている(161-184頁)。もっとも『進歩的文化人』が行った吉野の戦中協力批判が十全に正しいわけでもない。この点については佐藤卓己、前掲論文を参照。
- 31) 佐藤秀夫「学校での上学年支配の歴史と構造」保坂展人編『先輩が怖い!』リヨン社、1989年、212-222頁。

- 32) 言うまでもなく「間テキスト性 (Intertextuality)」とは、極めて多様に解釈され、また用いられてきた言葉である。本稿における「間テキスト性」は、直接的には同時代テキストの引用・被引用の関係を示している。つまり本稿では、「間テキスト性」を引用とほぼ同義の語として用いている。「間テキスト性」との表記を採用した理由は、「間テキスト性」に関わる議論が作品の安定した意味・解釈に対抗するものであり、かつ本稿で示すように、この視点を導入し検討することによって、『君たちはどう生きるか』の植民地主義的色彩が明るみに出されたためである。参照、石原千秋・木股知史・小森陽一・島村輝・高橋修・高橋世織『読むための理論——文学・思想・批評』世織書房、1991年、168-171頁；グレーム・アレン、森田孟訳『間テキスト性——文学・文化研究の新展開』研究社、2002年、3-10頁。
- 33) 吉野源三郎「作品について」『君たちはどう生きるか』岩波書店、1982年、302頁。
- 34) 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』岩波書店、1982年、135頁。
- 35) 水上瀧太郎『日本少国民文庫第六巻 人生案内』新潮社、1937年、198頁。
- 36) 同上、199頁。
- 37) 同上、208頁。
- 38) 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』岩波書店、1982年、25頁。
- 39) 同上、134頁。
- 40) 恒藤恭「この本を読む皆さんに (昭和11年9月8日)」『改訂日本少国民文庫 人間はどれだけの事をしてきたか (一)』新潮社、1942年、4頁。『人間はどれだけの事をして来たか (一)』の1937年初版を入手することができなかったため、本稿では1942年の改訂版を参照している。
- 41) 石原純「この本を読む皆さんに」『日本少国民文庫第二巻 人間はどれだけの事をして来たか (二)』新潮社、1937年、3頁。
- 42) 恒藤恭「この本を読む皆さんに (昭和11年9月8日)」、5-6頁。
- 43) 吉野源三郎「作品について」『君たちはどう生きるか』、302頁。
- 44) 具体例としては、岩波文庫版134頁「コベル君！ 君は『人間はどれだけの事をして来たか』という本を二冊も読んだから、人間が野獣同様な生活をしていた大昔から」が、漫画版171頁では「コベル君！ 君は歴史の本を何冊も読んだことがあるから、人間が野獣同様な生活をしていた大昔から」、1956年版では「コベル君！ 君は人間がケダモノ同様な生活をしていた大むかしから」、1967年版では「コベル君、君は人間がけだもの同様な生活をしていた大むかしから」となっている。
- 45) 具体例として、漫画版179頁と岩波文庫版142頁の「しかし、お互いに人間であるからには、誰でも、一生のうちに必ずこの答えを見つけなくてはならないと、僕は考えている」が存在するが、1956年版と1967年版では該当箇所は削除されている。
- 46) 「思想のリアリティーを求めて」堀尾輝久編『対話集——教育を支える思想』岩波書店、1993年、8頁。
- 47) 池上彰「『君たちはどう生きるか』を読む前に “私たちはどう生きるか”」吉野源三郎『君たちはどう生きるか』マガジンハウス社、2017年、3-7頁。
- 48) 羽賀翔一漫画・吉野源三郎原作『君たちはどう生きるか』マガジンハウス社、2017年、5頁。
- 49) 朝日新聞2018年1月5日11面。
- 50) 『君たちはどう生きるか』の読書経験を自己の成長と結びつける学生の読みを紹介したものとして、石巻専修大学学生、杉浦ちなみ、山崎功「『君たちはどう生きるか』を今どう読むか——学生たちと考える」『月刊社会教育』62(11)、2018年、18-24頁；椎名伸子「漫画版『君たちはどう生きるか』の生まれるまで」『文学と教育』(227)、2019年、17-22頁などを参照。
- 51) 朝日新聞2018年1月8日マガジンハウス社広告5面。
- 52) 同上。
- 53) 「【公式】漫画 君たちはどう生きるか」マガジンワールド <https://s.magazineworld.jp/books/kimitachi/> (2022年3月18日接続)
- 54) メンター、セラピーと自己啓発との関係性については小池靖『セラピー文化の社会学——ネットワークビジネス・自己啓発・トラウマ』勁草書房、2007年、79-125頁を参照。また自己啓発一般に関する研究として牧野智和『自己啓発の時代——「自己」の文化社会学的探究』勁草書房、2012年。もっとも、『君たちはどう生きるか』漫画版のベストセラー化を自己啓発現象とみる見解は、一定数存在していた。参照、與那覇潤『平成史』文藝春秋、2021年、502頁。
- 55) この点に関連して、門井慶喜は「昭和初期の活字版では子供が論理を学んだのに対し、平成末期の漫画版では大人が情緒を得ている」と指摘している。参照、門井慶喜「『君たちはどう生きるか』をどう読むか」『文芸春秋』97(1)、2019年、86頁。
- 56) 吉野源三郎・藤田省三「戦後民主主義の原理を考える」

- 『現代の理論』6(9)、1969年、12頁。
- 57) 同上、12-13頁。
- 58) 同上、13頁。
- 59) 同上、20頁。
- 60) この点に関して、鈴木正の論考は、観念的理論に対する吉野源三郎の否定的姿勢について言及している。参照、鈴木正「戦後思想のリアリティー——吉野源三郎をよむ」『思想史の横顔』勁草書房、1987年、92頁および鈴木正「戦後思想と永久民主主義——吉野源三郎を浮標に」『戦中と戦後精神』勁草書房、1981年、3-27頁。また、吉野源三郎の民主主義観に関しては以下も参照。櫻井智志「戦後思想のなかの吉野源三郎」『葦牙』(23)、1996年、161-170頁。
- 61) これまでの研究では、おじさんとは、吉野源三郎でありかつ素朴な啓蒙的マルクス主義の立場に立っていると理解されてきた。参照、杉田正樹「『君たちはどう生きるか』小考」『関東学院大学人文科学研究報』(10)、1987年、96頁。
- 62) 鉄尾周一・野澤朋子「インタビュー マガジンハウス 鉄尾周一さんに聞く」『日本児童文学』64(5)、2018年、47頁。
- 63) 参照、「著者インタビュー『漫画 君たちはどう生きるか』原作 吉野源三郎 漫画 羽賀翔一」『Hanada』(21)、2018年、148頁。
- 64) 例えば竹内洋は和辻哲郎の教養論の「お説教」、もとい象徴的暴力性を批判的に考察している。竹内洋『教養主義の没落』、54-55頁。
- 65) 例えば、佐藤卓己は自身の読書経験として、「啓蒙的な語り口が耐えられなかった」と述べている。佐藤卓己「『君たちはどう生きるか』著者の実像——戦後平和主義の戦略家・吉野源三郎」『中央公論』132(5)、2018年、157頁。また、階層的棲み分けへの反感を抱いた少年時の読書経験に言及するものとして、関川夏央「『君たちはどう生きるか』吉野源三郎——戦前の山の手のコドモたち」『図書』(621)、2001年、42-45頁。
- 66) 鉄尾周一・野澤朋子「インタビュー マガジンハウス 鉄尾周一さんに聞く」、48頁。
- 67) 池上彰・吉野源太郎「父・吉野源三郎の教え」『文芸春秋』96(3)、2018年、253頁。
- 68) 同上、245頁。
- 69) 「80年前の作品が大ブレイク 君たちはどう生きるか なぜ売れる? ——作者・吉野源三郎 長男が語る「父が伝えたかったこと」」『サンデー毎日』96(64)、2017年、141-143頁。
- 70) 毎日新聞2018年10月26日18面 第72回読書世論調査。
- 71) 鉄尾周一は、漫画版の売り上げの貢献に、有名コピーライターのスナズケの紹介や人気テレビ番組での教育学者による紹介によってブームが起こったと述べている。参照、「著者インタビュー『漫画 君たちはどう生きるか』」、152頁。
- 72) 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』岩波書店、1982年、298頁。
- 73) 羽賀翔一漫画・吉野源三郎原作『君たちはどう生きるか』マガジンハウス社、2017年、339頁。
- 74) 池田浩士『教養小説の崩壊 池田浩士コレクション4』インパクト出版会、2008年、214頁。
- 75) 同上、11頁。
- 76) 山田昌弘「希望格差から「親ガチャ」へ——若者のリアル」『潮』(756)、2022年、68-74頁; 土井隆義「平坦な戦場で僕らが生き延びること——社会的孤立と関係格差の最前線」『中央公論』136(3)、2022年、44-53頁; 御田寺圭「ブリッジ——分断された世代への橋渡し(1)-(4)」『熱風——スタジオジブリの好奇心』19(12)-20(3)、2021-2022年。
- 77) 「大辞泉が選ぶ新語大賞2021」<https://daijisen.jp/shingo/> (2022年3月18日接続)